

一般質問



澤 寺 議員

- 一、農林水産業振興について
二、東部交流センター(仮称)の建設計画について

質問

一、(1)国、県では、燃料高騰対策が講じられている。一方、地方においても、平戸市をはじめとして、農林業では、加温燃料やビニール資材の高騰に伴う補填、水産業でも燃油高騰にあえぐ現状にあることから、具体的な行動を起こしています。本市においても、何らかの制度をつくって、この問題に早急に取り組みべきではないか。(2)千頭増頭については、高齢化が進んでいる中、1、2頭飼いの方々が激減しており、少しでも長く飼育される環境を考え、キャトルステーションの建設が急務ではないかと考えるので、今後の計画をお示し願いたい。

二、何回となく陳情も重ねてきたが、最終的には5月7日に福島、鷹島、今福地区の地域振興会長、老人会長を含めた陳情を行った。また、平成18年の一般質問でも答弁がなされている。しかし、未だにこの問題については、松浦東高の廃校問題等を絡めて進められているが、あくまでもその中で検討をされる考えであるのか。また、建設年度はいつを目途とされているのか。

答 弁

一、(1)第1次産業は、本市の基幹産業であるので、市として対策を講じていく方針を固めたところである。また、できるだけ早く支援について考え方を示す必要があるので、補助金交付要綱の作成作業を急ぎ、できれば今議会中に必要な補正予算の追加提案をお願いしたいと考えている。(2)キャトルステーションは、増頭にはどうしても必要な施設と考えている。JAながさき西海農協では、建設に向けて、面積や道路、周辺の環境等を勘察しながら、松浦市と平戸市を候補地として、建設用地を探されていると聞いている。3百頭から5百頭規模のものを早くつくっていただきたいということから、22年度建設を視野に入れたお願いをしてみたい。

二、ご指摘のような松浦東高、今福中学校を絡めた案もあるが、現在の公民館と旧保育所の跡地に建設する案で、今後地元との協議を進めてまいりたいと考えている。この協議が調えば、来年度基本設計を行い、22年度実施設計、建設着工のスケジュールを考えている。

一般質問



富 吉 議員

- 一、市道権田線の進捗について
二、児童館の開館時間について

質問

一、市道権田線の整備については、これまで再三にわたりお願いをしてきたところであります。前市長、現友広市長におかれては、常に「引き続き整備する」とのお答えでありましたが、現状としては1センチも進んでおりません。このことについて、今後どのようにされようと考えておられるのかお聞きいたします。

二、児童館は、従来8時30分開館でありましたが、財政状況厳しい折、今年4月から10時開館に改めておられます。一斉に毎日の開館時間を変更するのではなく、例えば、土曜日、夏、冬、春休みについては、従来どおりとする等の配慮ができなかったものか市長のお考えをお聞きいたします。

答 弁

一、市内自治会、振興会からの要望の多くは、道路整備、改良、側溝整備であり、優先度を考慮しながら対応しているということは、ご理解いただきたい。権田線については、改良と側溝整備という形で取り組んでまいりたいと考えており、幸い、今年度から合併特例債がこのような事業に充てることができる見通しがついたので、これを活用して整備を早めていきたい。

二、子育て環境については、場所や機会を十分確保していく必要があると考えている。土曜日や夏休み等の長期休業中における開館時間については、今後どのような状況であるか、また皆さん方のお話も聞きながら対応を検討してまいりたい。



児童館で遊ぶ子どもたち